

# 耐震診断受診者の 意識に関する調査データ

## ◆ 耐震診断受診者アンケート 分析結果 ◆

「今後また大地震が発生する」と考えている方が約90%……………	P 1
自分が「巨大地震に遭う」と考える方が増加……………	P 2
「以前より地震に敏感になった」との回答が80%以上……………	P 3
災害伝言ダイヤル等は、「大部分の方が知っている」が、 「テスト利用は少数」……………	P 3
90%以上の方が地震に対する何らかの対策を実施するも、 多くは「地震後の備え」である……………	P 4
診断結果の良し悪しにかかわらず、 自宅の状態を知ることによって安心を感じている……………	P 5
工事実施率は「感じ方」ではなく「評点」で決まる……………	P 6

平成25年3月6日 発表

# 耐震診断受診者の意識に関する アンケート調査結果

2011年12月1日～2012年8月31日（9ヶ月間）に木耐協で耐震診断を実施した方のうち、事務局から診断後にお送りしたアンケートをご返信いただいた693名の回答から、東日本大震災以降に行った対策、地震に対する意識、耐震診断の結果について分析を行いました。

**「今後また大地震が発生する」と考えている方が約90%**

**質問** 日本国内で、10～20年以内に“阪神淡路大震災・東日本大震災”クラスの地震が再度発生すると思いますか？

	2013年3月			2008年8月	
はい	538	88.05%	ほぼ横ばい ←	10,098	91.68%
いいえ	73	11.95%		916	8.32%
無回答	82			1,489	

**今後10～20年以内に「大地震が発生すると思う」と答えた方は全体の約90%に上りました。**過去の調査データでも類似の質問に対して「今後大地震が発生すると思う」と回答した方の割合は90%前後となっており、地震発生を想定している方の割合が非常に高いことがわかります。

## 自分が「巨大地震に遭う」と考える方が増加

**質問** “阪神淡路大震災・東日本大震災”クラスの地震に、ご自身が遭われると思いますか？

	2013年3月			2008年8月	
はい	405	69.35%	← 増加	6,494	58.96%
いいえ	179	30.65%		4,520	41.04%
無回答	109			1,489	

「自分が被災すると思うか」という質問に対しては、約69%の方が「遭うと思う」と回答されました。2008年の同内容の調査に比べると目に見えて割合が増加しており、東日本大震災以降、地震に対する意識が高まり、地震災害を自分の問題として捉えている方が増えています。

しかし一方で、約30%の方は「自分とは関係ない」と考えている点も、耐震化を推進する上で変えていかなければならない点ではないでしょうか。

## 「以前より地震に敏感になった」との回答が80%以上

**質問** 東日本大震災以降、地震に対する意識は変わりましたか？

以前より地震に敏感になった	539	83.44%
地震に慣れた	27	4.18%
変わらない	80	12.38%
無回答	47	

災害伝言ダイヤル等は、  
「大部分の方が知っている」が、「テスト利用は少数」

**質問** 災害伝言ダイヤル（171）や災害用伝言板をご存知ですか？

知っていて、テスト利用したことがある	52	8.13%
知っているが、テスト利用はしていない	437	68.28%
知らない	151	23.59%
無回答	53	

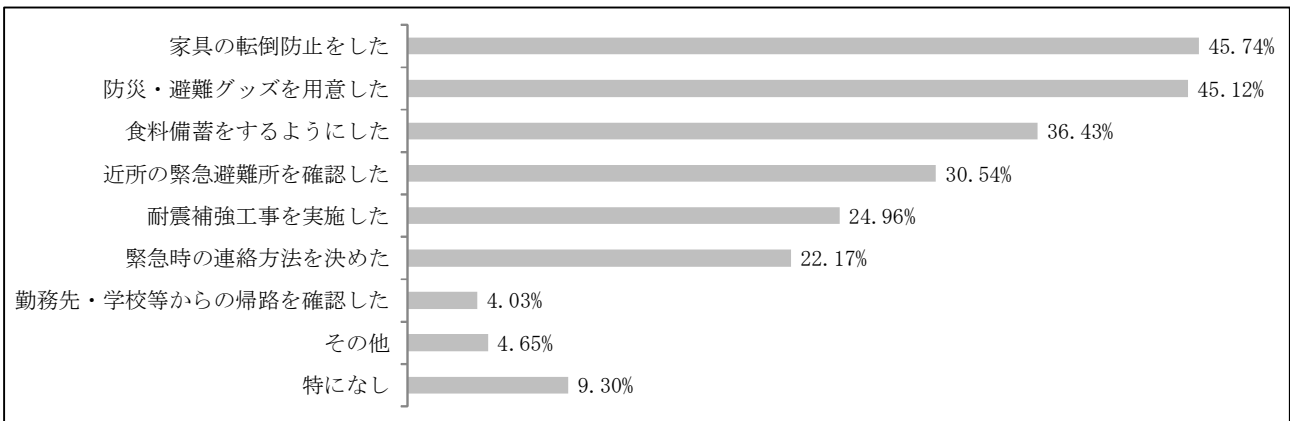
# 90%以上の方が地震に対する何らかの対策を実施するも、 多くは「地震後の備え」である

**質問** 東日本大震災以降、ご自身やご家族間で何か具体的に行ったことはありますか？  
あてはまるもの全てに○を付けてください。

実施した対策	回答数	割合
家具の転倒防止をした	295	45.74%
防災・避難グッズを用意した	291	45.12%
食料備蓄をするようにした	235	36.43%
近所の緊急避難所を確認した	197	30.54%
耐震補強工事を実施した	161	24.96%
緊急時の連絡方法を決めた	143	22.17%
勤務先・学校等からの帰路を確認した	26	4.03%
その他	30	4.65%
特になし	60	9.30%
回答者総数	645	
無回答	48	

90%を超える方が  
何らかの対策を行っている

[100% - 9.30% = 90.70%]



今回のアンケート調査では新しく「震災以降、何か具体的に行ったことはありますか」という質問項目を設けました。その結果、**何らかの具体的な対策を行った方は90%を超える**結果となり、消費者の方が地震対策を積極的に実施している様子が明らかになりました。

具体的な内容を見ると、「家具の転倒防止をした」と「防災・避難グッズを用意した」が共に45%程と多くなっています。これらの対策を「事前防災（地震発生前）」と「事後防災（地震発生後）」に分けると、「家具の転倒防止」「耐震補強工事」が「事前防災」、「防災・避難グッズ」「食料備蓄」「緊急避難所を確認」が「事後防災」になりますが、**全体的に「事後防災対策」をされている方が多くなっています。**

被災後の準備もちろん重要ではありますが、地震後の準備が役立つのは「地震で生き残った後」であり、最も重要なのは「地震が発生した時にいかに自分の命を守るか」です。**阪神・淡路大震災で亡くなられた6,434名のうち、死因の8割以上は圧死・窒息といった建物の倒壊によるもので、発生から15分以内に亡くなられています。**この悲劇を二度と繰り返さないよう、今後とも当組合では積極的に**事前防災としての耐震補強を推進してまいります。**

## 診断結果の良し悪しにかかわらず、

自宅の状態を知ることによって安心を感じている

**質問** 診断結果についてどのように感じられましたか？

安心した	210	36.40%
何とも思わなかった	19	3.29%
不安になった	289	50.09%
非常に不安になった	59	10.23%
無回答	116	

(診断結果感想別 評点分布)

評点	安心した		不安になった＋ 非常に不安になった		合計
評点1.0以上	60	28.57%	5	1.44%	65
評点1.0未満	150	71.43%	343	98.56%	493
合計	210		348		558

診断結果について「安心した」と感じた方は全体の約36%、逆に「不安になった・非常に不安になった」と感じた方は全体の約60%でした。

その「感じ方」ごとに評点の分布を見たところ、**「安心した」と回答した方の70%以上は耐震基準を満たしていない「評点1.0未満」でした。**

**評点が低くても耐震診断を実施することにより、どの程度耐震性が不足しているのか、またどうすれば耐震性を改善できるのかがわかるため、自宅の耐震性が全くわからないことが原因である「何となく不安だ」という状態ではなくなります。**

ご自宅の現状を知っていただくためにも、まずは耐震診断を受けていただくことを木耐協ではさらに推進してまいります。

## 工事実施率は「感じ方」ではなく「評点」で決まる

(評点1.0未満だった方の「受診後の感想と補強工事実施率」の分析)

「安心した」 「評点1.0未満」 (150件)			「不安になった+非常に不安になった」 「評点1.0未満」 (343件)		
工事した	工事していない	工事実施率	工事した	工事していない	工事実施率
52	98	34.67%	124	219	36.15%

前ページ「診断結果感想別 評点分布」のうち、評点1.0未満だった方について「補強工事実施率」を分析しました。すると「安心」と感じた方の工事実施率は約35%、「不安」と感じた方の工事実施率は約36%となり、工事実施率に大きな差異は見受けられませんでした。

**耐震診断の結果に対する感じ方は評点によって様々ですが、実際に工事をするかどうかは、結果に対する「感じ方」ではなく、「評点」によって決まることがわかります。**

私共、日本木造住宅耐震補強事業者協同組合（略称：木耐協）は、平成10年7月に民間の任意団体、木造住宅耐震補強推進協議会として発足し、平成11年3月4日より国土交通省（旧建設省）を主務官庁とする協同組合として新たな一歩を歩み始めました。平成24年12月現在では全国1,103社の組合員が活動しております。

今回は耐震診断を依頼された方へのアンケート結果を元に、耐震診断受診者の意識についての分析を調査データとして発表させていただきました。

私共木耐協では、今後もこの分野における公的な団体や自治体との密な関連を保ち、協調関係を結びつつ、活動して参りたいと考えております。

## 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合 基本理念

私たちは、地震災害から国民の生命と財産を守るため、「安全で安心できる家づくり・まちづくり」に取り組み、耐震社会の実現を目指します。

## 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合組合員倫理憲章

- 一、私達は木造建築の素晴らしさを保全し、安全で快適な住環境の維持に努めます。
- 一、私達は公共社会の一員として品性と倫理観を備え、常に研鑽に努めます。
- 一、私達は耐震技術者としての知識・技術・経験を高める事に努めます。
- 一、私達は適切な耐震診断を行ない、誠実な工事に努めます。
- 一、私達はお客様の要望を正確につかみ、お客様の理解と満足を得る事に努めます。
- 一、私達は業務を通じて得た耐震に関する知識を広く社会に還元し、耐震社会の構築に努めます。

以上 私達組合員一同は、本倫理憲章を誠実に履行することを誓います。



## 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

〒163-0638 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル38階

TEL:03-5909-1881 FAX:03-5909-1882

ホームページアドレス <http://www.mokutaikyo.com/>